

地質調査に使える^{とうはん}登攀技術紹介

＜長森 英明・古川 竜太＞

滑落などの危険を伴う場所を地質調査する際に、登攀技術を利用すれば、安全かつ円滑に調査できます。地質調査の安全対策として、登攀技術を活用してはいかがでしょうか。



1. 岸に植生のある滝の登攀。墜落を止めるための中間支点として、灌木を利用している。下に待機している確保者によって、安全確保されている。墜落は、確保者が制止する。



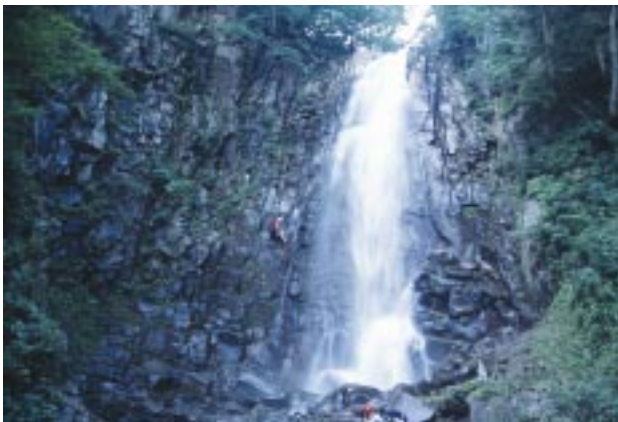
2. 滝の両岸に植生がないため、ハーケンを岩に打ち込んで、中間支点を設置している。



3. 左：登攀者の確保をしている様子。確保器でザイルの流れを制動することにより、登攀者の墜落を阻止することができる。



4. 右：三角法による安全確保をして、急流を渡渉している様子。流された時は、ザイルを操作して救助する。



5. 滝における懸垂下降。木を支点として利用している。



6. 懸垂下降の練習風景。写真では、下降器の固定を試みている。下降器を固定することで、斜面の途中で静止し露頭の観察を行うことができる。